

2023年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20230824

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	浜松市環境部 環境学習指導員養成講座		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
活動の目的			
環境学習リーダーとして活動のロジックツリーを考えて実践する			
実施内容			
活動日時	2023年8月24日(木) 13:00~16:00		
活動場所	浜松市西部清掃工場 環境啓発施設「えこはま」		
活動者名	高根美保		
詳細	①浜松市のごみの現状と西部清掃工場見学 ②ごみ減量対策と海洋プラスチックごみ問題 ・ごみの意味と浜松市のごみの種類 ・他都市のごみの名称 ・SDGsとごみ ・3R行動と環境マークについて ・リサイクル行動 ・紙容器リサイクル事業説明 ・使用済ハブラシリサイクルと使用済ペンリサイクル事業説明 ・環境啓発施設「えこはま」リユース事業		
事業の成果	参加者 11名+行政3名 配布物:ごみ減量リーフレット・スッキリエコ自慢冊子・2Rメモ帳・雑がみ啓発PP・雑がみ啓発マグネット・生ごみ水切り袋・紙容器リサイクル事業チラシ・回収袋、使用済ハブラシリサイクルチラシ、使用済ペンリサイクルチラシ 各15部準備 →必要な人に必要部数を持帰ってもらった。 <リサイクル体験> ごみ減量 1.15kg 紙容器リサイクル 0.3kg /紙バック 0.25kg /使用済ハブラシ 41本 0.4kg /使用済ペン 17本 0.2kg 対象外(持帰り) ペットボトル 1本、アルミ付き容器 2枚、カップ麺容器 1個、金属製ペン 1本 ・持参品の分別と計量を行うことで、正しい出し方を説明した。 <説明> ・活動だけでなくそこから得る成果を考える。その成果から次の取組みを考える事例説明を行った。 目標 市民のもったいない意識向上 合言葉 「もやしたら もったいない!」「できることから はじめてみよう!」 活動内容 3R啓発と実践 ・海洋プラスチック削減では、参加者の持ち物でプラスチック以外のものを探してもらうことで生活の中に奥のプラスチックが存在していることを認識してもらい、私たちに出来る行動を説明した。 ・食品ロスでは、過剰除去の実践結果や冷蔵庫の整理などを説明した。 <質問> ・使用済ペンや使用済ハブラシを地域で回収することは可能か？ ・西部清掃工場の処理能力は、ごみ量にあっているのか？ ・高温で処理する熱は、何か？ ・売電金額 ・環境マーク「紙」が付いていてもリサイクル出来ない理由。 ・「紙」マークが付いてアルミが付いていると雑がみに出せない理由。分かり易い資料はないのか？ ・ごみ有料化したらごみは減るのか？ ・シュレッダーされた紙をリサイクル出来ないか？ ・ごみの量と清掃工場の処理能力からごみ減量や有料化は必要か？ ・プラスチックごみは、リサイクルするのとごみとして燃やすのでは、どちらが環境によいか？ ・ペットボトルのリサイクルは、必要か？ ・ペットボトルのリサイクルは、容器包装協会を通さずに各市町村が独自に処理できる方法は無いのか？ 地元リサイクル企業を優先出来ないか？		
事業の課題	・分別に関する認識が間違っている人がいる。(なぜ雑がみ回収に出せないか、なぜ生ごみは水を切らなければならないか?)理由が理解されていない。 ・容リ法が正しく理解されていない。		

記録添付

